

人権一般ビデオ・DVD

番号	題名	内容	媒体	時間(分)
438	言葉があるから…	無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動「マイクロアグレッション」の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視やへんげんが隠れていることがあります。ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマは描いています。	DVD 2023	31
429	シェアしてみたらかわかったこと 年齢も社会的立場も異なる人たち	上京して、期待を胸に入居したシェアハウスそこに暮らしているのは、個性豊かな住人たちこの住人たちとの交流は戸惑いの連続だけと時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある。	DVD 2019	46
428	私たち一人ひとりができること 当事者意識をもって考えるコロナ差別	「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。	DVD 2021	26
425-1 425-2	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードです。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	DVD 2020	34
424	今こそ支えあって～コロナ禍でも がんばる地域からの発信～	県内の人権活動についてのインタビュー集 ①人権ネットワーク八幡～部落差別からあらゆる人権課題へ～ ②かんちゃん <small>の小さな家</small> ～子どもたちに居場所と絆を～ ③多機能型事業所エルディ～障がい者との共生～ ④サンタナ学園～コロナ禍でも負けない学びの保証を	DVD 2021	52
418	話せてよかった 家庭からふりかえる返る人権	自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合う人権啓発ビデオです。	DVD 2020	27
417	涙に浮かぶ記憶 -戦争を次世代へ伝えて-	この作品は、「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学生3年の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていくものです。平和は与えられるものではなく、一人ひとりが作り上げていくものであることを訴えます。	DVD 2017	28
393	わたしたちが伝えたい、大切なこと	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して、「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。	DVD 2016	31
392	わかっカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	初めてスマートフォンを持つ中学生を主人公としたインターネットによる人権侵害、高齢者の生きがいと若い世代との交流を描いた高齢者の人権、日本に住む外国人を対象とした外国人の人権の3つのテーマから構成されます。	DVD 2016	35
384	imagination(イマジネーション) 想う つながる 一歩ふみだす	子どもの人権(いじめ問題)、同和問題、障がい者の人権(発達障がい)の3つのテーマについて、現代社会に悩む様々な人々が心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていきます。	DVD 2015	34
382	その人権問題 わたしならどうする？ 家庭編	たとえ人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難な場合があります。さまざまな人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどう行動するかを考える、視聴者参加型の人権学習映像集です。	DVD 2015	23
381	すべての人々の幸せを願って～ 国際的視点から考える人権～	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る、平和で豊かな社会を実現するため、国連の人権への取り組み、女性の人権、子どもの人権、障がいのある人々の人権、外国人の人権のそれぞれのテーマを取り上げています。	DVD 2015	35
380	①ハンセン病問題～過去からの 証言、未来への提言～ ②家族で考えるハンセン病	①人権教育・啓発担当者向け、②一般向けに、ハンセン病問題に関する啓発を図ります。	DVD 2015	①56 ②20
376	未来を拓く5つの扉	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。	DVD 2014	46
374	桃香の自由帳	どの地域でも起こりうる出来事に光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。	DVD 2011	36
373	秋桜の咲く日	差別はいけないとわかっていても、『目に見えにくい違い』については、わからなかったり、知らなかったりするため、誤解や偏見、差別につながってしまうことも多いのではないのでしょうか。この『目に見えにくい違い』に焦点をあてて、その中のひとつとして、発達障がい(アスペルガー障害)をとりあげています。	DVD 2014	34

370	ワークショップをはじめよう 参加型の人権教室	中高生向けの人権啓発ワークショップの事例集です。	DVD 2014	—
369	ヒーロー	地域社会と縁を持たなかった主人公が、あるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていきます。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さについて考	DVD 2013	34
367	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身のまわりにある人権問題をクローズアップしています。気づくこと、そして、行動することの大切さをドラマで描きます。	DVD 2013	25
359	ほんとの空	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題など、多くの人権課題に共通するのは、私たちの誤った考え方や思い込みという偏見の意識です。誤解や偏見に気づき人と深く向き合い、日常の行動につなげていく様子をドラマで伝えます。	DVD 2012	36
354	くらしの中の人権問題 家庭編	日常生活において人権侵害がどうして起るのか。また、防止するには何が大切なのか、4つの問題をドキュメンタリー形式のドラマで考えていきます。「子どもの人権」「女性差別」「DV」「老人問題」	DVD 2011	22
348	差別意識の解消に向けて 一人 権のまちづくり	生活拠点である家の購入、賃貸マンションなどを契約する際に、同和地区やその含まれる校区を避ける人が今もなお多くいるのはなぜでしょうか？人権まちづくりをとおして、差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝えます。	DVD 2007	29
347	人権のヒント<地域編> 「思い 込み」から「思いやり」へ	街の喫茶店のところに様々な思いを抱いた人たちが集まる。その交流のなかから日常生活のいろいろな場面にて「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを考えていきます。	DVD 2010	25
343	日常の人権 II	日常生活の中に潜む様々な人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を描き、ドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。	VHS 2009	23
342	日常の人権 I	I 女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権 II 外国人の人権・障がい者の人権・部落差別・インターネットでの人権		23
335	えっ！これも人権？ -4コマ劇場より-	日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づきます。	VHS 2007	30
331	今日もよか天気たい	この物語は、視覚障がいのある一人の女性“京子”を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていきます。	VHS 2006	35
326 311	人権を行動する	このビデオでは、3つのケースを設定して、みなさんに行動するかしないかの分岐点を提示します。その時、自分なりにどのように行動できるか、できないか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えていきます。	VHS 2007	25
324	夕映えのみち	インターネットは人と人、人と情報をつないで豊かな社会を創る“文明の機器”です。その反面使い方を一歩間違えると、絆を絶つ凶器に変わってしまいます。	VHS 2006	38
318	くらしの中にひそむ	身のまわりにあるさまざまな事柄を通し、一人ひとりが差別の本質を見極め、自らの課題として考えます。	VHS 1987	30
314	人権の扉をひらく	思い込みの壁。差別と偏見の背景。パワハラと同調の弊害。思い込みや同調を乗り越えるために登場人物に思いを重ね「自分だったらどうするだろう」と常に考えながら見ていきます。	VHS 2007	25
309	この空の下で	ある夫婦が町内会の役を引き受けることになり、住民間の偏見や壁をなくし、育児や介護など、それぞれの悩みを分かち合い、共に生きるまちを作るために取り組む姿を描く。	VHS 2005	42
308	紡ぎだす未来	人権について考える第一歩として、あなたの身近にもさまざまな被差別の当事者がいるかもしれないということに気づく一歩に。	VHS 2007	35
307	人権入門	ある男性会社員の一日の出来事の中から「人権を考える10のチェックポイント」を用意し、誰にも思い当たるような日常の身近な人権について考えていきます。	VHS 2005	23
304	人権感覚のアンテナって？	ドラマでは偏見、差別、人権侵害に対する様々な意識や行動が描かれています。日常の意識や行動を見直すことで、自らの人権感覚のアンテナに気づいてほしいと願っています。それが、人権が尊重される社会作りのための第一歩になるのだと思います。	VHS 2006	39
282	もっと素敵にハーモニー	明るいドラマ仕立てですので、気軽に視聴する中で仕事と家庭生活、地域活動の調和がとれた生き方を考えていただくと同時に、日々の暮らしの中で当たり前と見過ごしていることの中に、性別を理由とした不合理な取扱や固定的な見方があることに気づいていただけるような構成です。	VHS 2005	30

263	バリアフリーをめざして	住みよい福祉のまちづくりビデオ	VHS 1997	23
253	人権のふるさと	人権のふるさと水平社博物館館内案内ビデオ	VHS 2001	10
248	人権に向合うための6つの素材	身近な人権問題を考えていく素材として6つの課題(DV、高齢者、障がい者、報道被害、HIV感染者、同和問題)をとりあげ、誰の生活の中にも人権があることを考えていただくことを目指している。	VHS 2003	27
243	私たちと人権	あらゆる場での人間関係を豊かにするために、いろいろな角度から自分自身の人権意識を問い直し、自ら考え、生き方を変え、行動するきっかけとなることを意図している。	VHS 1999	30
240	マイ・プロジェクト	パワーハラスメント、職場のいじめ、セクシャルハラスメント、公正採用、個人情報取り扱い、同和問題、インターネットの人権侵害に迫る。	VHS 2000	30
201	善良な人々 どこにでもある善良	差別は特別な悪意にだけ根付くものではなく、誰にもある日常の中に、しかも善意の中にも存在する。その日常を問題にすることで差別の正体に近づく。多くの社会的呪縛、女性問題、パワーハラスメント、同和問題についてとりあげた作品。	VHS 2003	56
197	「私」のない私 —同調と傍観—	人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説部の2部構成で問題提起。	VHS 2003	30
176	新しい風	ホームタウンで暮らす場直之・聡子夫妻が町内会長の役割が回ってきたことをきっかけに、地域活動や仕事を通じて、自分たちもとすれば軽視しがちな、「家庭内の人権」について、あらためて考えていきます。	VHS 2005	30
175	ぬくもりの彩	高齢者問題(介護に関する問題)、同和問題、悪徳業者についての問題を取りあげる。突然障がい者になった高齢者と同居することになった家族が、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品。	VHS 2003	36
174	私自身を見てください	私たちの暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ・偏見を問題提起。人権研修・ワークショップでの活用。	VHS 2001	153
173	山本家の場合	私たちは、日頃気づかないままに人を傷つけていることがあります。この作品は、その中から①男女平等 ②仏滅鬼門 ③縁談と釣書 ④親子の友情の4話構成にして、分かりやすくまとめられている人権ショートストーリーです。	VHS 2000	27
167	心のがね曇ってませんか?	日常の生活の中にみられるいくつかの事例を紹介して、思い込みや偏見がどうして形成されていくのか、どうすればそれをなくしていけるのかを考えてもらうことをねらいとした映画です。	VHS 2000	20
144	それぞれの明日	シガエレクトロニクス社が舞台。車いすに乗る「水野」、日系ペルー人の「カルロス」、同和地区出身で女性の開発課主任の「香坂」、人事課長で社の同和研修を担当する「結城」が登場します。	VHS 2001	56
142	シャッターチャンス	サラリーマンの家庭に育った高校3年生の主人公が、下町で伝統工芸の職人をしている叔父や、タイ人の叔母、同和地区出身者の写真家の生き方等に接し、自分の手で主体的に道を開いていく姿と、自分の価値観が正しいとかたくなに信じていた主人公の父親が、息子の進路問題に直面して、様々な生き方があることに気づく姿を描きます。	VHS 1999	25